

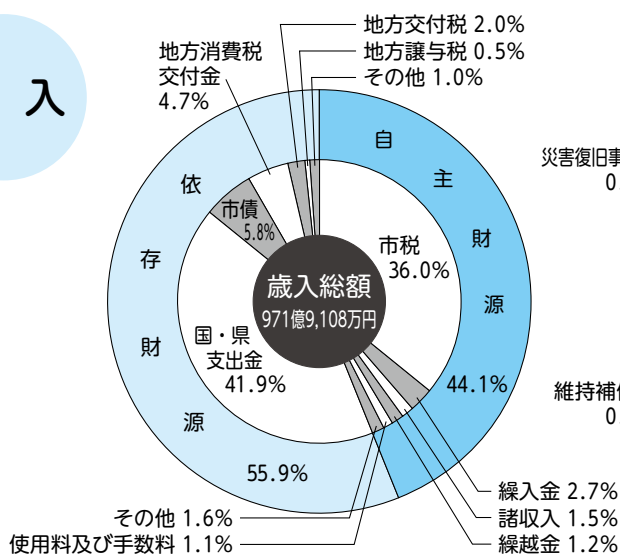
# 令和2年度の決算を審査

## 一般会計・特別会計・企業会計の

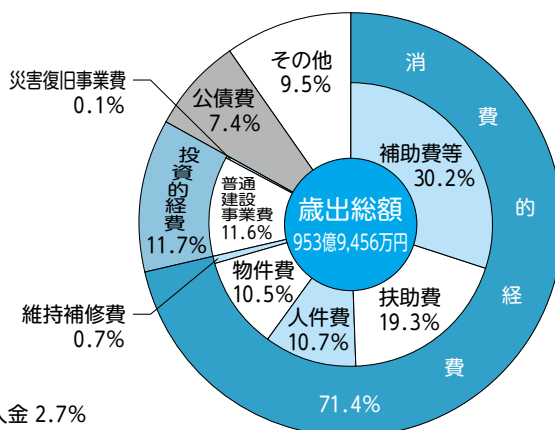
◆2～3ページの表は、1万円未満を四捨五入してあるため、差引額及び比較増減額が一致しない場合があります。

一般会計決算	歳入		歳出		差引額	
	令和2年度決算額	971億9,108万円	953億9,456万円	17億9,652万円		
	令和元年度決算額	737億955万円	725億2,108万円	11億8,846万円		
	比較増減額	234億8,153万円	228億7,348万円			
	増減率	31.9%	31.5%			

### 歳入



### 歳出



### 一般会計予算決算委員会での主な質疑

**問** ふるさと応援基金寄附金の実績と寄附獲得のための取組は。

**答** 令和2年度の寄附件数は3万4,505件、寄附額は4億9,137万3,000円で、令和元年度と比べ、寄附件数は1万8,542件の増、寄附額は2億4,164万4,000円の増となった。令和2年度は約250の返礼品を新たに登録したことに加え、ふるさと納税専用サイトにおいて、新茶やおせち料理などの季節に応じた返礼品の紹介を行ったほか、インターネット検索サイトの広告に人気の高い返礼品を掲載するなどのPRを行った。

**問** 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策の一環として実施した特別定額給付金交付

事業の実績は。

**答** 市民19万3,704人に対し、1人当たり10万円を給付し、総支給額は193億7,040万円、給付率は99.7%となった。

**問** 新型コロナウイルスの感染拡大に対する取組内容は。

**答** 事業者への支援としては、休業要請に対する協力金や減収となった飲食事業者への給付金の支給などを行ったほか、教育への支援としては、学校休業期間中における小中学校の児童生徒への図書カードの配付や児童生徒1人1台端末の整備、中学3年生のうち希望する生徒を対象に補習学習を行う沼津寺子屋開催事業などを実施した。医療・福祉支援としては、市立病院への工

アテント設置補助、公共交通事業者の感染拡大防止対策への支援などを行ったほか、市民生活への支援としては、児童扶養手当の追加支給や住居確保給付金受給者への応援事業などを実施した。また、ウィズコロナに向けた新しい生活様式への対応策としては、キャッシュレス決済ポイントの還元事業や市内中小企業者等に対する経営持続化支援金の支給など、感染拡大状況に応じて、国及び県の方針を踏まえ、適時適切な対応を全力で行ってきた。

**問** 住居確保給付金の支給件数が、令和元年度と比べ775件増加し820件となった主な理由は。

**答** 新型コロナウイルス感染

症の感染拡大を受け、令和2年4月20日から住居確保給付金の支給要件を拡大し、離職に加え、やむを得ない休業等により経済的に困窮し、住居を喪失した方又は喪失するおそれのある方も対象としたことが主な要因である。

**問** 地産地消の取組内容と成果は。

**答** 令和2年度は、沼津市学校給食地場産農産物関係者会議を開催し、学校給食に導入可能な地場産品について意見交換を行い、新たに地元産のトマトを学校給食に導入した。また、市内高校生を対象とした寿太郎みかんスイーツメニューコンテストを開催したことで、高校生の地産地消への関心が深まったと考えている。